

渡部かずふみ 議会だより

第3号 2007年12月13日



発行 渡部かずふみ後援会
沼津市宮本140
電話 055-924-7283
Fax 055-924-6186
発行責任者 山本 一彰
編集責任者 杉山 徹

スマートIC設置、伊良宇祢橋かけかえ等を質す

11月定例会 会期：2007年11月26日(月)～12月12日(水)



朝・夕を中心に大渋滞する伊良宇祢橋

第3回(11月)定例会は11月26日から12月12日までの17日間の会期で開かれました。本定例会では当初議案8件に加え、追加議案2件が提出され、本会議及び各種委員会で審議の結果、すべての議案が原案通り承認・可決されました。

また、本定例会の一般質問では14議員が通告を出し、渡部議員は、「東名愛鷹PAへのスマートICの設置」や「交通渋滞の要因となっている伊良宇祢橋のかけかえ」などについて市長に質問し、市民サービスの向上を求めました。その他、13議員も一般質問に立ちましたが、一部の会派において、議長による厳重注意や発言取り消しが相次ぎ、荒れた定例会となりました。

本議会だよりでは、議会の内容をお伝えするとともに、渡部議員が自ら体験した「耐震補強」に関する諸手続きなどをドキュメンタリータッチで報告します。

TOUKAI-0プロジェクトにチャレンジ ～全4回シリーズで報告します～

私は第2回(9月)定例会の一般質問で「東海地震に対する防災対策」をテーマに県が推進する「TOUKAI(東海・倒壊)-0(ゼロ)プロジェクト」に基づいた「沼津市耐震改修促進計画」の進捗状況について質しました。結果、計画通りに進んでいない実態が明らかになりました。そこで、市民の先頭に立たなければならないとの自負心から我が家(愛鷹地区・東原)を耐震補強しよう!と決心し、手始めに第1ステップである「住宅の無料耐震診断」にチャレンジしました。

今号から次のステップに沿い、4回シリーズでご報告していきます。

【第1ステップ】

住宅の無料耐震診断
(わが家の専門家診断事業)

【第2ステップ】

補強計画
(既存住宅耐震診断事業)

【第3ステップ】

耐震改修
(木造住宅耐震補強助成事業)

【第4ステップ】

ブロック塀の改修
(ブロック塀等改善事業)



*詳しくは<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/sisei/keikaku/taishin/taishin.htm>を参照願います。

「チャレンジ The 耐震補強」ドキュメント

～今号では住宅の無料耐震診断を報告～

今号から4回シリーズでお届けする「チャレンジ The 耐震補強」ドキュメントの第1回目は「住宅の無料耐震診断(わが家の専門家診断事業)」です。実体験に基づいたノンフィクション作品ですので、必ずや皆様のお役に立つものと思います。

1. 住宅の無料耐震診断(わが家の専門家診断事業)ドキュメント

不動産の所有権移転を行った翌日【10月30日(火)】に都市計画部・建築指導課(055-934-4766)へ直接電話し、「住宅の無料耐震診断(わが家の専門家診断事業)」を申し込みました。その後、沼津市から委託されている(社)静岡県建築士会が選任した建築士(耐震診断補強相談士)の方から11月13日(火)以降の都合の良い日に実施したいとの連絡があり、最初のステップである耐震診断の実施日を11月16日(金)に決めました。

耐震診断の実施日は半日休暇を取り、午後1時から派遣された建築士に診断してもらいました。診断作業は屋内の柱・壁、天井裏の梁や筋交い、床下の基礎の確認等、約1時間半に及び、作業を終えた建築士は、約2週間後に診断結果が出ると言い残して帰りました。

しかしながら、約1週間後の11月22日(木)に「結果が出た」との連絡があり、翌23日(祝)の午前10時に建築士と直接会い、耐震診断結果を聞きました。評価点は「0.45(倒壊する可能性が高い)」というもので、覚悟はしていたものの、少なからずショックを受けました。

評価(上部構造評点)	判定
1.5以上	: 倒壊しない
1.0以上～1.5未満	: 一応倒壊しない
0.7以上～1.0未満	: 倒壊する可能性がある
● 0.7未満	×: 倒壊する可能性が高い

→ **0.45**
倒壊する可能性が高い!
 渡部家の無料耐震診断の結果です。

< 所見 >

- ・基礎が無筋コンクリートで、一部ヒビ割れが見られるため評価点が低くなりました。
- ・XY方向とも耐震要素(耐力壁等)が少ないため評価点が低くなりました。
- ・X方向の耐力壁のバランスが悪いため評価点が低くなりました。

< 補強方法 >

- ・耐力壁をバランス良く増設・補強して下さい。
- ・床下の調査を行い、傷んだ部分があれば補修を行って下さい。

< その他注意事項 >

- ・目視調査範囲において深刻な劣化は見られませんでした。
- ・屋根を金属板等の軽い材料で葺き替えることにより、評価点が上がります。



2. 評価と総括

「住宅の無料耐震診断」は簡単な手続きで、短期間に結果が出ることから、是非、実施すべき制度であると感じました。加えて、対応してもらった市の担当者はとても親切で、説明も丁寧で分かり易いものでしたし、(社)静岡県建築士会から派遣された建築士も人当たりが柔らかで、とても感じの良い方でした。ただし、申し込みから建築士の派遣までが2週間以上かかったことに多少の不満は残りました。これは、「1週間の申込み分を次週月曜日に委託先へ送付し、その後、申し込み件数に応じて(社)静岡県建築士会が派遣者を選任する」という仕組みになっている点が原因のようです。次号では第2ステップである「補強計画(既存住宅耐震診断事業)」について、詳しくドキュメントします。どうぞお楽しみに!

第3回(11月)定例会の主な議案

原案通り議決

第3回(11月)定例会では「専決処分議案が2件、一般議案が3件、条例改正議案が3件(内1件は追加議案)、補正予算議案が2件(内1件は追加議案)」の合計10件の議案を審議し、すべて原案通り承認・可決されました。



沼津市高齢者就業センターの予定地

【専決処分】

1. 専決処分の報告(損害賠償額の決定)

平成19年9月6日、沼津市下香貫猪沼1103番地の1地内に設置された沼津市管理の交通規制広告看板が強風により飛ばされ、駐車していた車両に当たり破損させたため、129,279円の損害賠償を行った。

2. 専決処分の報告(道路事故損害賠償額の決定)

平成19年9月25日、市民が運転する車両が、沼津市足高286番地の30地先の農道を走行中、路面の沈下部分に落輪し、車両を損傷したため、40,635円の損害賠償を行った。

【一般案件】

3. 市道路線の変更

市道3705号線(添地町44番地地先から、添地町22番地地先まで)を大手町一丁目7番13地先まで延長(280m)する市道路線の変更を行う。

4. 指定管理者の指定(沼津市立あしたか学園)

沼津市立あしたか学園の指定管理者として(社)輝望会(理事長:岩崎一雄)を指定し、平成20年4月1日から平成25年3月31日までの5年間の管理・運営を委託する。

5. 指定管理者の指定(沼津市高齢者就業センター)

沼津市高齢者就業センターの指定管理者として(社)沼津市シルバー人材センター(理事長:高橋秀忠)を指定し、平成20年1月1日から平成23年3月31日までの3年3ヶ月間の管理・運営を委託する。

【条例改正】

6. 沼津市駐車場条例の一部改正

沼津市営庁舎北駐車場の廃止に伴い、沼津市駐車場条例(昭和49年条例第12号)の一部を改訂し、平成20年4月1日から施行する。

7. 沼津市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

公共下水道事業の事業計画の変更(処理人口:141,943人 143,640人、処理区域面積:1,999.5ha 2,517.1ha)による処理区域の拡大に伴い、当該事業に係る処理人口等を改訂し、沼津市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例(昭和41年条例第39号)の一部を改訂し、公布の日から施行する。



廃止予定の市営庁舎北駐車場

8. 沼津市職員の給与に関する条例の一部改正 *追加議案

国家公務員の給与改定にならい、一般職の給与を改定することに伴い、沼津市職員の給与に関する条例(昭和26年条例16号)の一部を改訂し、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は平成20年4月1日から施行する。

【補正予算】

9. 平成19年度沼津市一般会計補正予算(第4回)

補正予算は1,910,212千円の追加で、予算総額は、73,032,808千円とする。主な内容は、財政調整基金積立金1,587,754千円、生活保護扶助費168,000千円、清掃プラント整備事業費50,000千円等である。財源は、それぞれの特定財源の他、一般財源として繰越金をもって充てる。このほか、債務負担行為として沼津南一色線道路改良事業費を追加する。

10. 平成19年度沼津市一般会計補正予算(第5回) *追加議案

補正予算は94,000千円の追加で、予算総額は、73,126,808千円とする。主な内容は、退職手当のほか給与改定及び職員の異動等に伴う人件費の調整費である。財源は、一般財源として基金繰入金をもって充てる。



愛鷹PAを出入するシャトルバス

11月定例会、渡部かずふみ一般質問

4月の市議選で訴えてきた東名高速道路に関する諸施策に対する市長の姿勢を質すとともに、COP13の開催を受けてCO₂の削減状況及び各種事業の進捗状況と今後の取り組みを訊きました。

「質問」愛鷹PAへのスマートICの設置について

第39回技能五輪国際大会のシャトルバス運用で愛鷹PAに設置した臨時出入口運用が成功。これを受け、東名高速・愛鷹PAへのスマートICの設置に向け、商工会議所・商工会をはじめ地元自治会等の意見集約を進め、早期に対応すべきと考えるが市長の考えを訊きたい。

「答弁」スマートICを設置するには、社会的な便益性、周辺道路の安全性、採算性などが課題となるため、国土交通省、中日本高速道路(株)、警察などで組織する地区協議会で検討・調整を行い、社会実験を経て、本格導入の手順となるが、これには利用見込みが相当数あること、アクセス道路の整備を地元自治体が行うこと等が必要となる。愛鷹PAへのスマートICの設置については、これまでも周辺事業所等の要請を受け、国土交通省や県に打診したが、調査実施には至らなかった。しかし、本年9月に国土交通省から、高速道路の有効利用のためスマートICを増設する方向付けが出されたため、本市としても、東名高速・愛鷹PAへのスマートICの設置について、周辺事業所などのご意見を伺いながら調査・検討を進めていく。

「質問」交通量の激増に伴う橋梁のかけかえについて

柳沢地区における市道0118号線の道路改修の結果、朝・夕の通勤期間帯を中心に交通量が日に日に増えているとともに、伊良宇祢橋の道幅が狭いことに加え、進入角度が不適切であることから、ボトルネックとなり、スムーズな車両の通行を妨げている。早期に伊良宇祢橋のかけかえ改修が必要と考えるが市長の考えを訊きたい。

「答弁」伊良宇祢橋は、市道0118号線が柳沢地区の東名高速道路にかかる橋で幅員5mである。この市道0118号線は、本市の西部地区と東名沼津インター方面を連絡する道路として、また、愛鷹山麓周辺における公共施設への交通の利便性や地域の交通環境の向上を図ることを目的として、昭和50年代から整備を進め、現状では、柳沢地区と鳥谷地区の約1.2kmが未整備となっている。伊良宇祢橋は、この未整備区間内にあることから、道路を取り巻く社会情勢などを考慮しつつ、計画的な整備に取り組んでいきたい。

「質問」CO₂排出量の削減に向けた各種事業の状況と今後の取り組みについて

世界気象機関は、地球温暖化の原因とされる大気中のCO₂の平均濃度が平成18年に観測史上最高値を更新したと発表。当市では、CO₂の排出量削減に努めているが、現時点でのCO₂排出量削減状況及びこれに関連する各種事業の進捗状況や今後の取り組みを訊きたい。

「答弁」本市は事業者として、自ら排出するCO₂の削減に努めてきた。その結果、CO₂の排出量は、平成18年度実績で、基準年の平成16年度に比べ1.31%減の35,750トンとなっている。また、沼津市地域省エネルギービジョンのもとに、環境負荷の少ない資源循環型社会を目指して、地域と一体になった取り組みを進めてきた。平成13年度から家庭での省エネ・省資源の実践活動を推進するため、夏冬年2回の「家庭版環境ISO事業」を実施してきた。これまでの修了家庭は708世帯となっており、この事業により削減されたCO₂の量は、11.7トンと推計される。また、平成15年度から実施しているアースキッズ事業は、小学校高学年の児童が家庭でエコリーダーとなり、家族そろって省エネ生活に取り組む環境教育事業で、延べ17校994名の児童がチャレンジしている。昨年度から、住宅用省エネ型ガス給湯器の設置費補助事業を実施し、2年間で296件の普及が図られた。さらに今年度から実施している住宅用太陽光発電システム設置費補助事業は、これまでに32件の申請があった。このほか、市立病院におけるESCO事業や、クールビズ、ウォームビズ、公用車へのクリーンエネルギー自動車導入事業、中小の事業者を対象としたエコアクション21の認証取得の支援事業などを実施している。また、平成17年6月に設立した「省エネ推進ネットワークぬまづ」の活動などを通じて市民・事業者と一体となって、CO₂の排出削減に向けた啓発事業などの各種取り組みを進めてきた。今後においても、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながらCO₂の排出削減に向けた取り組みを継続して進め、市民レベルで取り組める温暖化防止に寄与する知恵や工夫の普及と省エネ機器の導入を促進していく。